



シッケイノ頭付近から見る仙ノ倉山(2026m)

## 谷川連峰 仙ノ倉山北尾根

2010年3月13日(土)～14日(日)

西村(L)、山本、後藤、斎藤、  
池田、安藤(記録)

雪稜企画山行には、新人は出たほうが良いとのことで、参加を決める。しかし、雪稜と聴くと左右に切れ落ちたナイフリッジが頭に浮かび不安がよぎる。

3月12日(金) 8:30 本厚木駅で、西村さん、後藤さん、斎藤さんを乗せ、出発する。集合時間は思っていたより早く、忘れ物がないか確認する余裕がなく少し心配だ。

11:10 赤城高原 SA で山本さん、池田さんと合流。少し時間調整し、湯沢 IC を降り、12:30 土樽駅に到着する。駅舎内には先着の1人が寝ている。明日の天気が雨でないことを願い、1杯飲んだ後、就寝する。

3月13日(土) くもりのち雨／雪

6:50 土樽駅を出て、毛渡沢橋手前の道路脇に駐車し、7:10 出発する。林道入口から雪道で、積雪は1m程。わかん、スキーなどのトレース上をつぼ足で歩くが所々足を捕られ歩き難い、30分程歩いた後は、わかんを着ける。

9:30 群馬大ヒュッテ手前の小さな吊橋に着く。底板の外された吊橋を渡り、急な尾根を登る。降ったり止んだりの小雨が雪に変わり、遠くは望めなくなる。



12:00 小屋場ノ頭(1182m)に着いた時、視界は100m程になる。小屋場ノ頭の手前で、テント2張りを設営する。時間は早いですが、1杯やりながら、後藤さんが行う水作りを手伝う。禁酒している西村さんは、ほかの人が一杯やっている間、雪洞作りを行っていた。後で見に行くと一人用のりっぱな雪洞ができていた。  
17:00 食当の後藤さんが夕食の仕度に掛かる。調理してきた材料で手早く作ったボルシチを美味しく頂く。屋間ほとんど飲んでしまった酒を大事に飲み、20:00 就寝する。

3月14日(日) 雪のち晴れ

6:10 山本さんが作った朝食のタコスパゲティ  
ーを頂き、テント場を出発する。

雲で覆われ、視界は 200m 程。狭い尾根や急  
斜面の登行は、恐怖心が出て、足取りが遅くな  
る。後ろから「慎重に一步ずつゆっくり行けば  
良い」と声が掛かる。

9:05 シッケイノ頭に着く。この手前の斜面が  
急で、登ったのはよいが下りでは、ロープがほ  
しいところだと、私と池田さんは口に出す。

標高が高くなるに連れて、風も強くなる。ここ  
からは尾根が広がるが、視界は 10m 程になり、  
左側の雪庇の端を目安にして進む。尾根が交  
差する 1800m 付近は、GPS で位置を確認し、  
進む方向を確認する。10:35 仙ノ倉山頂に着く。  
風が強い。雲が切れはじめ、一騎に青空が広  
がる。360 度の素晴らしい展望が広がる。登り  
の苦勞が報われる瞬間だ。風が強く長居はで  
きない。記念撮影をして下る。



山頂を少し下ると、風は穏やかになる。青空の  
下、シッケイノ頭までの広い尾根を見ながらの  
雪山歩きは、楽しい。

11:30 シッケイノ頭手前で、少し長めの休憩を  
取る。仙ノ倉山、谷川岳や回りの山々の景色  
は初めて見るので、見飽きることがない。

11:50 シッケイノ頭から短い急な下りが数力  
所出てくる。この中でシッケイノ頭の下りが一  
番急で、斎藤さん、後藤さんの後に続いて下る  
が、滑落するのではないかと緊張し、平な所に  
下りるまで時間が長かった。続いて山本さんが  
下り、次の池田さんはこの下りで恐怖心が出て  
いるようで、傍で西村さんのアドバイスを受け  
ながら、ゆっくり下ってくる。



13:20 無事テント場に着く。テント場までは狭  
い尾根と少し急な下りも出てきたが、展望がよ  
い尾根歩きを楽しむことができた。

14:20 テントを撤収し、ひざ下まで潜るザラメ  
雪を踏んで尾根道を下る。

15:30 毛渡沢出合いの吊橋に着く。西村さんと  
私は吊橋を渡るが、他の人は岩伝いに渡渉す  
る、そのほうが楽だったようだ。あとは林道歩  
き、ときどき足を捕られる雪道をヒタスラ歩き、

16:50 毛渡沢橋傍に駐車した車に着く。

ほんとうに疲れました。湯沢 IC の隣のレストラ  
ンで食事後、いくつかの渋滞に会いながら、  
23:30 無事に本厚木に着き、解散する。

初めての雪稜トレに参加した私にとっては、  
仙ノ倉山北尾根は、少し怖い部分もありました  
が、楽しい部分が多いよいコースでした。  
皆さん、ありがとうございました。